



いよいよ3月、卒業まであと3週間



早いもので、今日が2月最後の登校日。来週からは3月、1年間の締めくくりの月です。先日は、楽しみにしていただいていた授業参観を中止にしましたが、御理解・御協力いただきましてありがとうございました。先週には、県の対策レベルが一段さがり、学校での教育活動も、感染症対策を講じながら広がっていています。年度初めの臨時休校で遅れが心配された、本年度の教育課程も、夏休みの短縮や7時間授業の実施などで、予定通り修了する見込みが立っています。そのような中、6年生は3月19日(金)の卒業式の練習を始めました。今年度も昨年度の卒業式や入学式同様、式の参加人数と時間等を見直し、何よりも卒業生の想いを表現する場を大切にして、実施することとしています(下記参照)。

今年度しかできない、まとめの期間を子どもたちと共に作っていただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



本年度の卒業式について 【感染症予防対策】

- 卒業生、保護者2名まで、5年代表児童、関係職員だけの参加。
- 座席は、前後1m以上の間隔をとり、換気のため、側面及び背面戸は常時開けておく。
- 卒業生全員への証書授与、校長式辞、卒業生答辞(歌)は実施。
- 答辞の時は、前後間隔2m以上。
- 在校生お祝いの言葉は、5年生代表児童のみで実施。
- 来賓は、教育委員会、中学校・幼稚園・保育所の代表者、PTA会長のみ。あいさつは割愛。
- 本年度は、保護者代表謝辞も実施しない。
- 在校生は、教室でオンライン映像を見ながら参加(見る時間は学年段階に応じて)。
- 見送りは校舎全館のホールや廊下を利用し、全校生で行う。

令和3年度の入学式について

3月上旬の感染症の状況に応じて、市内で統一して基本的な実施方式を決定する予定です。



2/15 新児童会役員スタート

卒業を1カ月後に控えた6年生から5年生へ、児童会活動のバトンが渡されました。新役員になった6名の決意の言葉です。

- 紺屋 侑作・・・「ありがとう」を自然に言い合える学校にしたいです。
- 菅 颯希・・・観小の伝統である気持ちのよいあいさつを広めたいです。
- 荻田 悠雅・・・いじめのない、みんなが仲よく過ごせる学校にしたいです。
- 白川 瑞歩・・・楽しいイベントを考えて、全校生の絆を深めたいです。
- 鈴木倫太郎・・・困っている人がいたら、解決できるように行動したいです。
- 眞鍋 颯希・・・仲良く助け合える学校にするため楽しい生活作りをする。



2/12 6年生に「いのち」の授業

中学校という新しいステージに向かう6年生に対して、ゲストティーチャーを招き、道徳科の授業を行いました。

- 講師：岡田さえ氏
- 内容：「いのち」の授業(以下は主な内容)
 - ・ラオスでのボランティア活動で感じたこと。
 - ・1日24時間の時間は誰にも平等である。
 - ・友だちや先生との出会いは奇跡的なこと。
 - ・「いのちのおはなし」の絵本を通して。

※ 授業でも活用した、岡田さんがかいた絵本を寄贈していただきました。



「学校の取組に対する御意見・御要望(第3回)を実施します。意見や要望、伝えたい事がある方は御提出ください。」